

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.200)

1. 発行200号に際し、事業所長からのご挨拶

“ご安全に”

平素からPCB廃棄物処理事業にご理解を賜り誠に有難うございます。

この事業だよりは平成16年5月にスタートし、豊田市様との環境保全協定の締結や、処理施設建設の起工式の状況等を皆様方にお知らせすることから始まり、平成24年8月に100号、そして今回200号を迎えることができました。また、操業開始は平成17年9月ですので現在15年間の操業を継続し、PCB廃棄物処理も終盤を迎えているところです。これもひとえに地元の皆様方のご理解の賜物と深く感謝を申し上げます。



当事業所所員一同、安全で確実な処理を行い、皆様方にご安心とご信頼をいただくとともに、PCB廃棄物の早期処理を進めてまいります。そして、それらの状況は、豊田市PCB処理安全監視委員会やこの事業だよりを通じて、ご報告、ご紹介してまいりますので、引き続きのご理解とご指導をよろしくお願い申し上げます。

令和2年12月

豊田PCB処理事業所長 青木 仁志

2. 総合防災訓練の実施

火災の発生時に被害を最小限に止め、事業所全従業員の安全確保と火災の延焼防止を図る目的で、豊田市南消防署(西分署)のご協力をいただき、10月30日(金)に総合防災訓練を実施しました。



自動火災報知設備の発報に始まり、ピロティ(左画像)への緊急避難、防災対策本部及び現地指揮本部の設置、119番通報、人員点呼、初期消火活動、豊田市南消防署(西分署)との合同訓練、消火完了後の鎮火確認に至るまで、実践さながらの有意義な防災訓練となりました。

今回は、3密を避けるため消火栓・消火器の操法訓練の実施は見送りましたが、消火活動中に発生した怪我人を救助する訓練は実施しました。

豊田市南消防署(西分署)より、日頃の訓練が十分に発揮され大変すばらしかったとお言葉をいただきました。

3. 愛知県議会議員による豊田PCB処理事業所視察

11月12日(木)に愛知県議会県民環境委員会による視察が行われました。



愛知県議会県民環境委員会の委員様12名、地元の県会議員様5名併せて17名の県会議員様及び愛知県環境局長様はじめ、環境局幹部の方々が当事業所にご来場されました。

3密を避けるなど新型コロナ対策に配慮しつつ、大変熱心にPCB処理施設をご覧いただきました。

視察時の質疑応答では、未把握のPCB廃棄物の掘起しの進捗、PCBを保管されている事業者に対するJESCOとの早期契約の促進、そして 橋梁等に塗布されているPCB含有塗料の処理などについて質疑がありました。



4. オイル回収塔溶剤ポンプからの液漏みについて

11月18日(水)、事業所内蒸留エリアの4階にあるオイル回収塔の溶剤ポンプから、微量のPCB(3.9mg/kg)を含む溶剤が滲み、床に滴下しました。

作業員が床に滴下した溶剤を発見し、速やかに溶剤ポンプからの滲みを止めるとともに、床の溶剤を拭き取りました。

滴下量は約10ccで、PCBの外部への漏洩や、室内の作業環境の悪化はありませんでした。

詳細な原因を調査し、再発防止に取り組んでまいります。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

